

## 主要な経営指標等の推移

### 最近5事業年度に係る主要な経営指標等の推移

(単位：百万円)

決算年月	2012年3月期	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期
経常収益	183,227	177,864	174,581	173,334	175,846
業務純益	73,471	66,344	60,073	59,575	63,460
経常利益	61,690	62,624	58,490	56,609	61,458
当期純利益	35,999	42,678	37,424	35,228	40,201
資本金	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000
発行済株式総数(千株)	3,800	3,800	3,800	3,800	3,800
純資産額	338,392	363,969	356,209	392,440	382,247
総資産額	11,388,353	11,791,928	12,271,444	12,583,374	13,076,916
預金残高	10,552,145	10,911,648	11,321,153	11,601,963	12,055,533
貸出金残高	6,468,096	6,631,075	6,692,453	6,868,540	6,976,960
有価証券残高	4,165,970	3,579,705	2,870,438	2,169,952	1,664,752
1株当たり純資産額(円)	89,050.73	95,781.54	93,739.45	103,273.74	100,591.35
1株当たり配当額(円)	9,200.00	10,300.00	10,500.00	9,500.00	9,800.00
(うち1株当たり中間配当額(円))	(4,500.00)	(4,700.00)	(5,600.00)	(4,900.00)	(4,600.00)
1株当たり当期純利益金額(円)	9,473.42	11,231.28	9,848.58	9,270.75	10,579.29
単体自己資本比率(国内基準)(%)	12.47	12.46	13.40	14.26	13.78
配当性向(%)	97.11	91.70	106.61	102.47	92.63
従業員数(人)	3,163	3,195	3,153	3,161	3,251
営業活動によるキャッシュ・フロー	259,208	344,684	529,727	207,842	469,109
投資活動によるキャッシュ・フロー	△436,237	621,758	696,276	764,009	486,901
財務活動によるキャッシュ・フロー	△14,466	△75,858	△42,560	△58,740	△70,960
現金及び現金同等物の期末残高	401,271	1,291,860	2,475,307	3,388,424	4,273,479
総資産経常利益率(%)	0.55	0.54	0.47	0.43	0.47
総資産当期純利益率(%)	0.32	0.37	0.30	0.27	0.30
純資産経常利益率(%)	21.13	21.37	19.68	19.19	20.90
純資産当期純利益率(%)	12.33	14.57	12.59	11.94	13.67

(注) 1. 消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

2. 1株当たり情報の算定上の基礎は、財務諸表「注記事項」の(1株当たり情報)に記載しております。

3. 単体自己資本比率は、銀行法第14条の2の規定に基づく2006年金融庁告示第19号に定められた算式に基づき算出しております。当社は国内基準を採用しており、2014年3月期からバーゼル3を適用しております。

4. 従業員数は、就業人員数を記載しております。

5. 総資産経常(当期純)利益率 =  $\frac{\text{経常(当期純)利益}}{\text{総資産(除く支払承諾見返)平均残高}} \times 100$

純資産経常(当期純)利益率 =  $\frac{\text{経常(当期純)利益}}{\text{純資産勘定平均残高}} \times 100$

■損益の状況

(単位：百万円)

	2015年3月期	2016年3月期	2015年3月期比
<b>業務粗利益</b>	136,390	137,458	1,067
国内業務粗利益	135,125	135,279	153
資金利益	112,001	104,791	△7,210
役務取引等利益	19,154	20,242	1,087
その他業務利益	3,968	10,245	6,277
国際業務粗利益	1,265	2,179	914
資金利益	128	343	215
役務取引等利益	175	174	△0
その他業務利益	961	1,660	699
<b>経費（除く臨時処理分）</b>	△76,815	△74,762	2,052
人件費	△30,050	△29,801	249
物件費	△42,117	△39,849	2,268
税金	△4,646	△5,111	△465
<b>一般貸倒引当金繰入額（A）</b>	—	765	765
<b>実勢業務純益</b>	59,575	62,695	3,120
<b>コア業務純益</b>	53,869	47,499	△6,370
<b>業務純益</b>	59,575	63,460	3,885
うち債券関係損益	5,705	15,196	9,490
<b>臨時損益</b>	△2,965	△2,002	963
株式等関係損益	652	2,391	1,739
株式等売却益	1,204	2,800	1,596
株式等売却損	△1	△364	△363
株式等償却	△550	△43	506
不良債権処理額（B）	△5,082	△4,814	267
与信費用戻入額（C）	2,786	2,435	△351
その他	△1,321	△2,014	△692
<b>経常利益</b>	56,609	61,458	4,848
<b>特別損益</b>	△390	△678	△287
固定資産処分損益	△193	△177	15
減損損失	△197	△501	△303
<b>税引前当期純利益</b>	56,218	60,779	4,560
<b>法人税、住民税及び事業税</b>	△15,061	△18,618	△3,556
<b>法人税等調整額</b>	△5,928	△1,960	3,968
<b>当期純利益</b>	35,228	40,201	4,972
<b>与信費用（A）+（B）+（C）</b>	△2,296	△1,614	681
一般貸倒引当金繰入額	2,401	765	△1,636
貸出金償却	△4,340	△2,872	1,468
個別貸倒引当金繰入額	△1,960	△1,716	244
その他不良債権処理額	△742	△226	515
償却債権取立益	2,345	2,435	89

- (注) 1. 実勢業務純益：一般貸倒引当金繰入額を除いた業務純益  
 2. コア業務純益：債券関係損益、一般貸倒引当金繰入額を除いた業務純益  
 3. 金額が損失又は減益の項目には△を付しております。

■2016年3月期の業績について

2016年3月期の埼玉県経済は、前半は、雇用情勢の緩やかな改善などにより、個人消費や住宅投資を中心に回復の兆しが見られましたが、後半にかけては、新興国経済の減速を背景に企業の生産活動や輸出が伸び悩んだほか、個人消費などにやや弱い動きが見られました。今後も、雇用・所得環境の緩やかな改善が見込まれる一方、世界景気の下振れリスクの影響などが懸念され、景気の先行き不透明感は強まっています。このような環境下、当社は引き続き、お客様ニーズを起点とした営業戦略を徹底し、積極的に地域金融の円滑化に努めた結果、貸出金残高や預り金融資産残高などの営業基盤の拡充は着実に進展しました。収益状況につきましては、低金利環境の継続による貸出

金利回りの低下を主因に資金利益は減少となりましたが、グループ機能や情報を活用したソリューションの提供による役務取引等利益の増加や、市場部門の運用力強化による債券売却益の増加などにより、業務粗利益は前年度比10億円増加の1,374億円、実勢業務純益（一般貸倒引当金繰入額を除いた業務純益）は前年度比31億円増加の626億円となりました。また、株式売却益が増加したことに加え、継続的な経営改善支援の取組みにより、与信費用が低水準で推移したことなどから、経常利益は前年度比48億円増加の614億円、当期純利益は前年度比49億円増加の402億円となりました。